

聴松軒

Choshouken



炉のなごり

- 【回り炭】
- 【炭所望】
- 【濃茶】
- 【薄茶】
- 【盆点】
- 【流し点】



流し点



掛物

- 【掛物】 「青山」 即中斎
- 【花入】 旅枕 備前
- 花 椿（袖隠し）、朴伴、シヤガ、大手毬



花入

- 【香合】 染付「隅田川」

- 【釜】 霰棗 釣釜
- 【水指】 萬古オランダ写し 勝山作
- 棚 旅簞笥



香合



釜

- 【茶入】 真塗黒大棗

- 仕服 笹蔓緞子
- 【茶碗】 萩「トリノコシ」写



水指



棚



茶入

- 替 万古 宗心宗匠
- 久祐老師 銘「春の聲」

- 【薄茶器】 春の絵 尻張棗
- 蓋置 五徳 萩焼



萩



萬古



奈良絵

- 【菓子器】 即中斎好 独楽

- 【干菓子器】 木地「東海の天」 亭主絵
- 菓子 「卯の花巻」「笹衣」「多胡の浦」



茶杓



薄茶器

- 干菓子 「豆菓子・桜」「吹き寄せ」

- 濃茶 「羽根さぬき和三盆」
- 薄茶 猶有斎好「楽寿の昔」 柳桜園
- 而妙斎好「珠の白」 柳桜園



蓋置



干菓子器

【回り炭】

- 半田 巴半田・筋半田の作り方 炉縁に足二本向ける

- 長火箸の扱い
- 底取の扱い
- 灰のくずし方
- かき上げ方
- うずみ火の仕方
- 炭の打様 同じ型にならぬ様
- 二順目からは
- 釣り鎖の扱い

【炭所望】

- 所望の意味合い

【濃茶】

- 大棗の茶の掃き様・扱い方
- 男子の仕服棗の扱い方

【流し点】

- 四畳半流し点
- 水屋道具にて
- 水次ヤカンを使って
- 棗の蓋 茶碗と膝の間に